

## 令和4年度 箕面市行政視察報告書

### 1 日程

令和4年11月10日（木）～11月11日（金）

### 2 視察先

#### ① 11月10日

##### (1) 東京消防庁災害救急情報センター

視察項目	東京消防庁における災害救急情報の運用について
視察目的	東京都内の広域的な災害救急情報に関して、円滑に適切に一元管理されていること確認することで、大阪府で検討している大阪府下市町村の消防一元化への取組みの一助とする。

#### ② 11月11日

##### (1) 東京消防庁第三消防方面本部（消防救助機動部隊）

視察項目	東京消防庁におけるハイパーレスキュー隊の活動状況について
視察目的	東京都内の地震や毒物などの大災害を広域的に対応されていることを確認することで、大阪府で検討している大阪府下市町村の消防一元化への取組みの一助とする。

##### (2) 東京都水道局

視察項目	東京都の水道行政について
視察目的	東京都水道局は都内23区および多摩地区の市町に対して、広域的に一律料金で水道供給をされていることを確認することで、大阪府域の水道事業一元化への取組みの一助とする。

### 3 参加者（大阪維新の会箕面市議団）

議員	神代繁近、武智秀生、尾崎夏樹、堀江優、桃山悟、山根ひとみ
----	------------------------------

## 視察先名称（東京消防庁災害救急情報センター）

項目	内容	備考
東京消防庁災害救急情報センターについて	<p>東京消防庁には二つの災害救急情報センターがある。</p> <p>千代田区にある災害救急情報センターは23区からの通報を受ける。</p> <p>立川市にある多摩災害救急情報センターは稲城市を除く多摩地区からの通報を受ける。</p> <p>通報者からの受信に対して、適切な出動要請、搬送先医療機関の調整など広域消防ならではの効率的な運用が行われている。</p> <p>また、スマートフォンのカメラ機能を活用し、災害現場とリアルタイムな情報共有が行えるシステムの運用もされている。</p>	



### 所感

箕面市においては豊能消防の事務委託を行っており、今後近隣市による通信業務の共同化も進められる。

しかし、大阪府下市町村の消防行政の広域化によって、救急対応の迅速化、効率化は欠かせないため、今後も東京消防庁のメリットを研究していく必要がある。

## 視察先名称（東京消防庁第三消防方面本部消防救助機動部隊）

項目	内容	備考
東京消防庁災害救急情報センターについて	<p>東京消防庁では、羽田沖墜落事故、地下鉄サリン事件、阪神淡路大震災、東日本大震災などの大災害への対応のため、消防救助機動部隊（通称：ハイパーレスキュー）が発足した。</p> <p>ハイパーレスキューは火災のみならず、放射線、有毒ガスなどの現場から救助を行う専門知識を有している。</p> <p>あらゆる災害現場からの救助を行う、ハイパーレスキューは、広域消防ならではの組織である。</p>	



### 所感

東京消防庁ハイパーレスキューの様な専門組織を各市の消防が保有する事は不可能である。この面からも、大阪には消防の広域化として大阪消防庁の実現が不可欠である。

# 視察先名称（東京都水道局）

項目	内容	備考
東京都水道局について	<p>東京都水道局は、23区および多摩地区の市町に水道を一律料金で給水している。 （武蔵野市、羽村市などは未統合自治体）</p> <p>東京都水道局への統合に際して、一律料金になることで自治体間での問題は生じなかったとのこと。</p> <p>23区と周辺市町との水道経営が一元化されることで、広域化のメリットが生かされている。</p>	



**所感**

大阪広域水道企業団として府域一水道をめざすには、東京都23区が中心となったように大阪市が中心となって広域化を推し進める必要がある。

今後も、東京都水道局のメリットを理解し、大阪府域一水道への取組みを進めたい。